

絵本製作「けんけつってなあに？」

～見えない誰かを思いやる、優しい気持ちを育む絵本～

東京家政大学 家政学部 児童学科 育児支援専攻 4年 原 優里奈
卒業研究担当:井戸 裕子先生

・はじめに

現在私は、東京都学生赤十字奉仕団に所属している。2年前に学生ボランティアとして献血の呼びかけをしていた時、ある母親が4、5歳くらいの娘に「見ちゃダメ！血を取られちゃうよ！」と声かけをする場面に遭遇した。その言葉かけに衝撃を受けた私は、幼い子どもでも献血について知るきっかけが作れないかと考え、子どもが献血を身近に感じられるような絵本を作成したいと思った。

実際に献血に関する絵本について調べてみると、幼児向けの絵本はほとんどなく、またどれも血の働きについてのものばかりであった。そこで今回、幼児（年長児）を対象とした絵本『けんけつってなあに？』を作成することにした。

・研究目的

この絵本を作成した目的は、子どもたちに献血に対する興味・関心を持ってもらうことと、読み聞かせをする側である大人も献血について改めて考えるきっかけとなることである。子どもは日常生活において身近な存在である家族や友達と接していく中で、相手の立場に立って物事を考えることができるようになる。この絵本では、子どもたちがそこからもう一步広い世界を想像した時に『世の中には自分の知らないところで困っている人がたくさんおり、“ボランティア（ここでは献血）”を通して命を助けることができる』ということに気づいてもらいたいと思った。

この絵本の読み聞かせを通して、子どもたちが16歳になった時に、献血について思い出せるきっかけにもなれば嬉しい。

・製作期間／今後の予定

「献血」という専門的な内容であるため、赤十字職員の方から確認していただき作成した。2017年11月～2018年8月（約9カ月）を経て、7月29日(水)に卒業研究担当である井戸先生同伴のもと、印刷会社の担当者から絵本の受け取りが完了した。今後の予定については、以下の通りである。

施設名	期間	実施内容
献血ルーム 吉祥寺タキオン	9月20日(木)～11月末	アンケート調査
献血ルーム ソラマチ feel	9月25日(火)～11月末	
献血ルーム 池袋 い〜すと		
武蔵野 赤十字保育園	10月29日(月)	読み聞かせ、アンケート調査
東京家政大学	11月19日(月)	学内献血でのアンケート調査
赤十字 子どもの家	11月30日(金)	読み聞かせ※1

※1 日本赤十字社東京都支部企画課の方から後日取材を受け、日本赤十字社が毎月発行している広報誌『NT』の1月号に掲載予定。

※2 実施後、各施設に絵本を寄贈。

この研究では、東京都若松河田血液センターをはじめ多くの施設や職員の方にご協力いただいている。現在は地元である群馬県内の献血ルームにも絵本の設置を検討しており、アンケート回収後は読んでいただいた感想も踏まえながら結果をまとめていこうと考えている。自身も献血推進をしていくながら、今後も引き続き研究を続けていきたい。